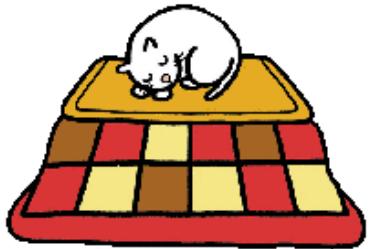




# かがやきだより

令和8年1月



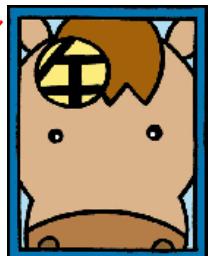
新年おめでとうございます  
今年もよろしくお願ひ申し上げます

2026年がスタートしました。

2026年は干支における「丙午(ひのえうま)」と西洋占星術における「木星獅子座」期という、2つのパワフルなエネルギーが重なる1年です。

「丙午」は60年に一度巡ってきますが、「丙(ひのえ)」は強烈な陽の火、「午(うま)」もまた真昼の火を表します。つまり2つの「火」に包まれた、烈火の如きエネルギーを持つ年と言えるでしょう。

そして12年に一度の大幸運期「木星獅子座」期。西洋占星術において、幸運と拡大を象徴する星「木星」が2026年の夏頃から獅子座に滞在します。獅子座の支配星は太陽。木星×獅子座という組み合わせは、私たちに「堂々と輝くこと」を示してくれる最高の配置だそうです。獅子座が持つのは「創造する喜び」や



「自分らしさを恐れない勇気」。まるで太陽が惜しみなく光を注ぐように、才能や個性にスポットが当たり、周囲をも照らす。それが木星獅子座期のテーマです。

この2つは、いつも時代を「活性化」させ、カルチャーを塗り替えてきました。前回の丙午の年は60年前の1966年。日本ではビートルズが来日し若者たちが熱狂の渦に包まれました。ファッショントレンドとなり、多くの女性が堂々と自分自身を表現し始めた時代です。「女性が力を持ち、自立すること」を社会が予感した年だったと言えるのではないでしょうか。

一つ前の木星獅子座期は2014~2015年で、「セルфиー(自撮り)」が世界的に定着し、ソーシャルメディアで自己表現することが当たり前になった時期です。クリエイターエコノミーが台頭し、個人が才能を生かして収益を得る道が大きく広がりました。「表現すること」「創造すること」「自分であること」の価値が、社会全体で再認識される時代です。

一方そこには、注意すべき「やけど」のリスクも。これらの強力な「火」の年は、行き過ぎた情熱によるトラブルも招きがちです。自己主張が強すぎて衝突したり、火災や噴火といった物理的な「火」の災いが多かったり、隠されていたことが表沙汰になり炎上することにも注意が必要です。

2025年は、国内外問わず大規模な山林火災が相次ぎ、甚大な被害をもたらしました。特に冬は暖房器具等で火を使用する機会が増え、気候的に空気が乾燥し風が強い日が多くなります。火事は大切な物や命までも奪いかねません。

「火」は生活に欠くことができないものですし「情熱の火」も大切です。「火の用心」も心に留めて2026年、皆様にとって勢いのある上向きな年となりますように。



## 令和8年1月・2月の予定

理容: 1月19日(月), 2月9日(月)

1月8日(木) 誕生日会

1月15日(木) 14:00~ 運営推進会議

2階理学療法室にて

美容: 1月26日(月), 2月16日(月)

2月 未定 節分行事

2月 未定 誕生日会



- インフルエンザ等の感染症が流行しています。体調に気を付けてお過ごしください。
- 期間目標(1月~4月) “利用者の、良い所に目を向けて、認めて褒める声掛けを”



令和8年1月7日

